



最新のオランダ式太陽光利用型温室で
高品質トマトの安定生産



株式会社 君津とまとガーデン

株式会社君津とまとガーデンは、千葉県君津市に立地するトマトの栽培農場です。

君津とまとガーデンは、オランダの先進的な施設園芸技術を導入し、年間を通じて高品質なトマトの安定生産を行っています。

君津市の豊かな自然の中に、目を引く広大な施設で、地元の農業大学校や高校の園芸科卒業生を採用するなど、地域の雇用等にも貢献している株式会社君津とまとガーデンについて紹介します。



君津トマトガーデン全景



君津とまとガーデンの概要



君津トマトガーデンは、千葉県南西部の君津市にあり、大市場である東京・首都圏に近く、アクアライン・京葉道路の2経路でのアクセスが可能な利点を活かし、新鮮なトマトを出荷しています。

東京ドームほどの広大な敷地を持つ、国内でも有数の大規模トマト栽培施設で、年間約16万株、約700t生産しています。

施設は、農業先進国オランダの知見が詰まった「オランダ式太陽光利用型温室」を採用し、高度な環境制御が行われ、年間を通じて高品質なトマトを安定供給しています。

また、雨水を利用した栽培、排給液のリサイクル利用など、環境へ配慮した取組みも実施しています。

君津トマトガーデン位置図

【電子地形図（国土地理院）を加工して作成】

○設 立 : 2016年4月1日

○敷地面積 : 約6.0ha

○栽培面積 : 約4.3ha

○設計/施工 : ワーヘニンゲン大学（オランダ）
トミタテクノロジー(株)

○建物構造 : フェンロー温室

○所 在 地 : 千葉県君津市上湯江1318番地3

○資 本 金 : 1千万円

○栽培品目 : ミニトマト・大玉トマト



環境へ配慮した取組みが実施される施設内



オランダ式太陽光利用型温室「フェンロー温室」



オランダ式太陽光利用型温室「フェンロー温室」の特徴

1 高い採光性

高散乱光フィルムのハウスは光を最大限に取り込み、トマトの光合成を促進させ、太陽の恵みをたっぷり浴びることで、味の濃いトマトが育ちます。

2 優れた自然換気性能

高い軒高と大型の天窗（喚起口）により、自然の風を効果的に取り入れ、ハウス内の空気を常に新鮮に保ちます。

3 高度な環境制御

大型天窗、細霧冷房など、緻密なシステムでハウス内の温度・湿度・二酸化炭素濃度などを自動で最適化しています。これにより、安定した高品質のトマトが生産できます。



高性能なフェンロー温室



栽培されている「スイートベル」の特徴



甘くて美味しい「スイートベル」

特徴1 8～9度と糖度が高く、甘くて風味が豊か

特徴2 肉厚でパリッとはじける食感

特徴3 ヘタ処理済みで洗ってすぐ食べられる



JGAP認証取得農場

《JGAP認証》

安全かつ効率的に持続可能な農場運営を行う為の基準を満たした農場や団体に与えられる認証です。

「Japan Good Agricultural Practice（日本の良い農業の取り組み）」の頭文字をとっています。

JGAP 認証を取得していることにより、トマトの生産工程における農薬や肥料の適正な使用、収穫後の衛生管理など、消費者に安全で安心なトマトを提供するための管理体制が整っていることが認められています。



JGAP 認証農場



環境へ配慮した取組み



雨水タンク（900 m³ × 4 基設置）

● 水資源の有効活用

雨水を貯留し、栽培用水として1日最大 350 t 再利用しています。

● 二酸化炭素の有効利用

暖房時に発生する二酸化炭素を、光合成を促すためにハウス内に供給し、エネルギーを無駄なく利用しています。

● 化学農薬の低減

害を与えるアブラムシなど、害虫の天敵となる昆虫（ツヤコバチ）をハウス内に放飼し化学農薬の低減に取り組んでいます。